



▲町保健師による講義

認知症の人も暮らしやすい町に 増穂小で認知症サポーター講座

認知症について正しい知識を身に付け、理解を深めてもらおうと、増穂小学校の5年生とPTAを対象に、11月20日、「認知症サポーター講座」が開催されました。

認知症サポーターが小学校を訪問。児童約50人とPTAを前に、認知症の症状や認知症の人への正しい接し方について説明しました。

講師は実例を交えながら、認知症の人などがどんなことに困っているか、認知症の人に対する対応をとればよいかなどを具体的に説明。「どうすれば

認知症について正しい知識を身に付け、理解を深めてもらおうと、増穂小学校の5年生とPTAを対象に、11月20日、「認知症サポーター講座」が開催されました。

認知症の人たちが不安にならずにすむか、考えてほしい」と呼び掛けました。また、劇やクイズで、講義の内容を理解できているか復習。楽しみながら、理解を深めました。

最後に、児童には認知症サポートの証「オレンジリンゴ」を授与。サポーターとして認定を受けました。

講義後、児童からは「認知症の人たちがわかった」「認知症の人にはついたら、教えて接したい」などという感想が寄せられました。

日本の遊びを通じて交流

白里小児童が国際交流



▲福笑いを楽しむ留学生と児童たち

初めて会う外国人の方と言葉や風習の違いを越え、楽しく交流しようと12月9日、白里小学校で「校内授業研修会（世界の人々と交流しよう）」が行われました。

4年生74人は、城西国際大学の留学生33人を歌で歓迎。

その後、各班に分かれて自己紹介の後、こま回しやゴムと手巻きすしと一緒に食べたりして交流を深めました。

留学生たちは、初めて経験する日本の遊びに少し戸惑いながらも、見よう見まねで遊びに参加。ノルウェーから留学しているイングリッドさんとステファンさんは、「新しい経験でした。子どもたちはすごく元気。楽しかったです」とにこやかに話してくれました。

留学生たちは、初めて経験する日本の遊びに少し戸惑いながらも、見よう見まねで遊びに参加。ノルウェーから留学しているイングリッドさんとステファンさんは、「新しい経験でした。子どもたちはすごく元気。楽しかったです」とにこやかに話してくれました。



▶見よう見まねであやとりをする留学生

年末年始に向けて、ひつたくりや空き巣等の犯罪、飲酒運転に伴う交通事故等を未然に防止しようと12月10日、冬の交通安全運動にも絡めて、東金警察署管内の年末年始特別警戒出動式が町内で行われました。

この出動式は、東金警察署長を始め、県や町、関係機関、団体等の約130人が参加。飯田剛士東金警察署長は「車上狙いなどの刑法犯が増えてる。本日から始まる年末年始特別警戒は1月3日まで行われるが、犯罪や交通事故の抑止のため、街頭パトロール等を強化してほしい」と参列者に協力を求めました。

また、堀内町長は「この時期は、いろいろな犯罪等が増えるので、安心安全のためにご尽力いただきたい」と呼びかけました。式典最後には、管内のパトロールにそれぞれ出動。そのほか、啓発物品を配布し、行きました。



古き良き文化を体験 大網東小でしめ縄作り



大網東小学校では、地域の作物を育て地域の文化を学ぼうと、5年生46人が12月10日の「総合的な学習・Eタイム」の時間に、正月飾りのしめ縄作りを体験しました。

この日の講師は、地域ボランティアとして日々、学校に協力をいただいている土屋光毅さん。子どもたちは、土屋さんから「わらをきれいに整えるのがポイントだよ」と、手ほどきを受けながら、2時間で2つずつ完成させました。

子どもたちは、完成したしめ縄を前に、「わらにも硬い部分があって、縛るのが難しかった」、「上手にできた」、「出来栄えは70点から80点ぐらいかな」と感想を話してくれました。

また、土屋さんは「子どもたちはしめ縄を作るのが初めてだから、なかなかうまくいかないみたい。でも、すごく良くできている子もたくさんいたね」と、その出来栄えを評価してくれました。

笑顔あふれる異世代交流

子ども会育成連絡協議会による子どもフェスタ



家族や地域住民との異世代交流を深め、子どもの健全育成と子ども会の活性化を図ろうと、子どもフェスタが12月12日に、農村環境改善センターいづみの里で行われました。

会場では、リサイクル工作や凧作り、エコバック作り、松ぼっくりのクリスマスツリー作り等に夢中になる子どもたちの姿が多く見られました。

また、餅つき体験や縁日コーナーでは、大人たちと交流を深める微笑ましい場面も見られました。

この日、家族とイベントに参加した堀江葵ちゃんは、「お母さんと一緒に凧作りをしました。頑張って凧にウサギの絵も描きました。お正月になら、今日作った凧をあげて遊びます」と元気に笑顔いっぱいで話してくれました。

※この日の参加費として集めたペットボトルキヤップは、シェイクハンドへ、プルトップと収益の一部は、町社会福祉協議会へ寄附されました。